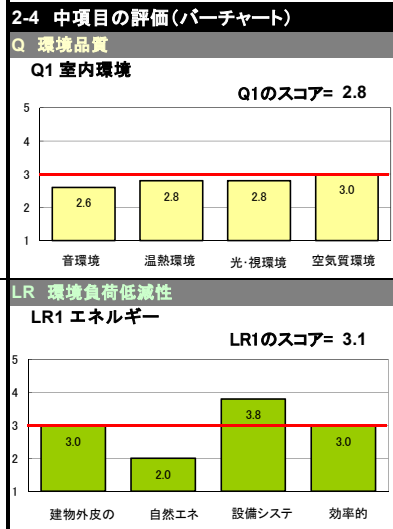
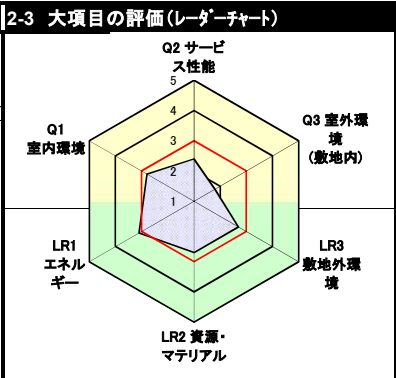
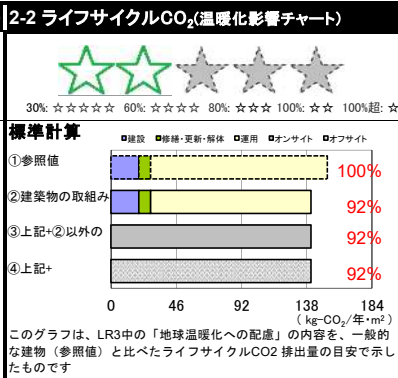
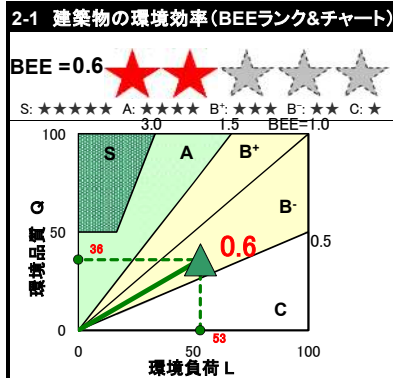


1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)竹本油脂(株)様社員寮	階数	地上10階
建設地	愛知県蒲郡市松原町877番2、878番	構造	RC造
用途地域	準工業地域	平均居住人員	76人
気候区分	6地域	年間使用時間	8,760時間/年
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2021年2月 予定	評価の実施日	2019年11月5日
敷地面積	1,996 m <sup>2</sup>	作成者	生和コーポレーション 脇田
建築面積	405 m <sup>2</sup>	確認日	2019年11月6日
延床面積	2,683 m <sup>2</sup>	確認者	生和コーポレーション 熊澤



### 3 重点項目

①地球温暖化への配慮 **3.3**

②資源の有効活用 **2.1**

③敷地内の緑化 **1.0**

④地域材の活用 **1.0**

外構緑化指数 (外構緑化面積/外構面積)	8.5 %
建物緑化指数 (建物緑化面積/建築面積)	0.0 %

〈外装材に使用した地域性のある材料〉  
なし

〈建物の構造材・内装材、外構に使用した地域性のある素材〉  
なし

各重点項目は、以下の評価項目の得点により算出されています。

①地球温暖化への配慮  
LR-3 1 地球温暖化への配慮

②資源の有効活用  
Q-2 2 耐用性・信頼性、Q-2 3 対応性・更新性  
LR-2 2 非再生性資源の使用量削減

③敷地内の緑化  
Q-3 1 生物環境の保全と創出

外構緑化指数 =  $\frac{\text{中高木の樹冠の水平投影面積} + \text{低木・地被等の植栽面積}}{\text{敷地面積から建物面積(建築面積及び附属物面積)を除いた}} \times 100$

建物緑化指数 =  $\frac{\text{屋上緑化面積} + \text{壁面緑化面積}}{\text{建物によって占有された部分の水平投影面積(法定面積)}} \times 100$

みんなの環境活動を応援しています

スコアシート		実施設計段階		建物全体・共用部						建物全体・共用部		居住・宿泊部分		全体
配慮項目	独自基準 重点項目	環境配慮設計の概要記入欄		評価点		重み 係数	評価点		重み 係数	評価点		重み 係数	全体	
		評価点	評価点	評価点	評価点		評価点	評価点						
<b>Q 建築物の環境品質</b>														<b>2.4</b>
<b>Q1 室内環境</b>														<b>2.8</b>
<b>1 音環境</b>														
1.1 室内騒音レベル														2.6
1.2 遮音														
1 開口部遮音性能														0.50
2 界壁遮音性能														0.50
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)														0.50
4 界床遮音性能(重量衝撃源)														0.50
1.3 吸音														
<b>2 温熱環境</b>														
2.1 室温制御														2.8
1 室温														0.50
2 外皮性能														0.63
3ゾーン別制御性														0.38
2.2 湿度制御														
2.3 空調方式														0.20
3 光・視環境														
3.1 昼光利用														2.8
1 昼光率														0.30
2 方位別開口														0.30
3 昼光利用設備														0.40
3.2 グレア対策														0.30
1 昼光制御														1.00
3.3 照度														0.15
3.4 照明制御														0.25
<b>4 空気質環境</b>														3.0
4.1 発生源対策														0.63
1 化学汚染物質														1.00
4.2 換気														0.38
1 換気量														0.33
2 自然換気性能														0.33
3 取り入れ外気への配慮														0.33
4.3 運用管理														
1 CO <sub>2</sub> の監視														
2 喫煙の制御														
<b>Q2 サービス性能</b>														<b>2.4</b>
<b>1 機能性</b>														<b>2.3</b>
1.1 機能性・使いやすさ														
1 広さ・収納性														0.60
2 高度情報通信設備対応														1.00
3 バリアフリー計画														1.00
1.2 心理性・快適性														0.40
1 広さ感・景観 (天井高)														0.50
2 リフレッシュスペース														
3 内装計画														0.50
1.3 維持管理														
1 維持管理に配慮した設計														
2 維持管理用機能の確保														
<b>2 耐用性・信頼性</b>														<b>2.3</b>
2.1 耐震・免震・制震・制振														
1 耐震性(建物のこわれにくさ)														0.80
2 免震・制震・制振性能														0.20
2.2 部品・部材の耐用年数														0.33
1 躯体材料の耐用年数														0.23
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔														0.23
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔														0.09
4 空調換気ダクトの更新必要間隔														0.08
5 空調・給排水配管の更新必要間隔														0.15
6 主要設備機器の更新必要間隔														0.23
2.4 信頼性														
1 空調・換気設備														0.20
2 給排水・衛生設備														0.20
3 電気設備														0.20
4 機械・配管支持方法														0.20
5 通信・情報設備														0.20

<b>3 対応性・更新性</b>			0.2	1.4	0.29	3.0	3.0	1.00	2.7
3.1 空間のゆとり			-	-	-	3.0	3.0	-	0.50
1 階高のゆとり			-	3.0	-	-	3.0	-	0.60
2 空間の形状・自由さ			3.0	3.0	-	-	3.0	-	0.40
3.2 荷重のゆとり			3.0	3.0	-	-	3.0	-	0.50
3.3 設備の更新性		②	1.0	1.4	1.00	-	-	-	-
1 空調配管の更新性			-	1.0	0.17	-	-	-	-
2 給排水管の更新性			3.0	1.0	0.17	-	-	-	-
3 電気配線の更新性			3.0	1.0	0.11	-	-	-	-
4 通信配線の更新性			3.0	1.0	0.11	-	-	-	-
5 設備機器の更新性			3.0	1.0	0.22	-	-	-	-
6 バックアップスペースの確保			3.0	3.0	0.22	-	-	-	-
<b>Q3 室外環境(敷地内)</b>			-	-	0.30	-	-	-	1.8
1 生物環境の保全と創出		独自③	-	1.0	0.30	-	-	-	1.0
2 まちなみ・景観への配慮		独自④	-	2.0	0.40	-	-	-	2.0
3 地域性・アメニティへの配慮			0.3	2.5	0.30	-	-	-	2.5
3.1 地域性への配慮、快適性の向上		独自④	-	2.0	0.50	-	-	-	-
3.2 敷地内温熱環境の向上			-	3.0	0.50	-	-	-	-
<b>LR 建築物の環境負荷低減性</b>			-	-	-	-	-	-	2.8
<b>LR1 エネルギー</b>			-	-	0.40	-	-	-	3.1
1 建物外皮の熱負荷抑制			3.0	3.0	0.33	-	-	-	3.0
2 自然エネルギー利用			3.0	2.0	0.17	-	-	-	2.0
3 設備システムの高効率化		省エネルギー計算による	3.0	3.8	0.33	-	-	-	3.8
4 効率的運用			0.1	3.0	0.17	-	-	-	3.0
集合住宅以外の評価			-	-	-	-	-	-	-
4.1 モニタリング			3.0	3.0	-	-	-	-	-
4.2 運用管理体制			3.0	3.0	-	-	-	-	-
集合住宅の評価			1.0	3.0	1.00	-	-	-	-
4.1 モニタリング			-	3.0	0.50	-	-	-	-
4.2 運用管理体制			-	3.0	0.50	-	-	-	-
<b>LR2 資源・マテリアル</b>			-	-	0.30	-	-	-	2.7
1 水資源保護			0.1	3.4	0.15	-	-	-	3.4
1.1 節水		省水型便器を設置	3.0	4.0	0.40	-	-	-	-
1.2 雨水利用・雑排水等の利用			0.6	3.0	0.60	-	-	-	-
1 雨水利用システム導入の有無			3.0	3.0	1.00	-	-	-	-
2 雑排水等利用システム導入の有無			3.0	3.0	-	-	-	-	-
2 非再生性資源の使用量削減			0.6	2.4	0.63	-	-	-	2.4
2.1 材料使用量の削減			-	2.0	0.07	-	-	-	-
2.2 既存建築躯体等の継続使用			-	3.0	0.24	-	-	-	-
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用		②	-	3.0	0.20	-	-	-	-
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用		独自	3.0	1.0	0.20	-	-	-	-
2.5 持続可能な森林から産出された木材			3.0	2.0	0.05	-	-	-	-
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み		独自	3.0	3.0	0.24	-	-	-	-
3 汚染物質含有材料の使用回避			0.2	3.0	0.22	-	-	-	3.0
3.1 有害物質を含まない材料の使用			3.0	3.0	0.32	-	-	-	-
3.2 フロン・ハロンの回避			0.6	3.0	0.68	-	-	-	-
1 消火剤			-	-	-	-	-	-	-
2 発泡剤(断熱材等)			-	3.0	0.50	-	-	-	-
3 冷媒			3.0	3.0	0.50	-	-	-	-
<b>LR3 敷地外環境</b>			-	-	0.30	-	-	-	2.7
1 地球温暖化への配慮		①	ライフサイクルCO2概算値 97%	3.3	0.33	-	-	-	3.3
2 地域環境への配慮			0.3	1.8	0.33	-	-	-	1.8
2.1 大気汚染防止			-	1.0	0.25	-	-	-	-
2.2 温熱環境悪化の改善			-	2.0	0.50	-	-	-	-
2.3 地域インフラへの負荷抑制			0.2	2.5	0.25	-	-	-	-
1 雨水排水負荷低減		独自	-	3.0	0.25	-	-	-	-
2 汚水処理負荷抑制			-	3.0	0.25	-	-	-	-
3 交通負荷抑制		独自	-	3.0	0.25	-	-	-	-
4 廃棄物処理負荷抑制			-	1.0	0.25	-	-	-	-
3 周辺環境への配慮			0.3	3.0	0.33	-	-	-	3.0
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			0.4	3.0	0.40	-	-	-	-
1 騒音		独自	-	3.0	1.00	-	-	-	-
2 振動		独自	-	-	-	-	-	-	-
3 悪臭			-	-	-	-	-	-	-
3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制			0.4	3.0	0.40	-	-	-	-
1 風害の抑制			-	3.0	0.70	-	-	-	-
2 砂塵の抑制			-	3.0	-	-	-	-	-
3 日照障害の抑制			-	3.0	0.30	-	-	-	-
3.3 光害の抑制			0.2	3.0	0.20	-	-	-	-
1 屋外照明及び室内照明のうち外に漏れる光への対策			-	3.0	0.70	-	-	-	-
2 屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策			-	3.0	0.30	-	-	-	-

**重点項目スコアシート**

(仮称)竹本油脂(株)様社員寮

実施設計段階

■使用評価マニュアル

CASBEE-建築(新築)2016年版+あいち版手引き

■評価ソフト:

CASBEE-BD\_NC\_2016(v2.1)\_AICHI

重点項目(配慮項目)		評価点	全体に対する 重み係数	重点項目スコア
<b>① 地球温暖化対策</b>				<b>3.3</b>
LR3-1	地球温暖化への配慮	3.3	0.10	
<b>② 資源の有効活用</b>				<b>2.1</b>
Q2-2	耐震性・信頼性	2.3	0.09	
Q2-3	対応性・更新性	1.4	0.09	
LR2-2	非再生性資源の使用量削減	2.4	0.19	
<b>③ 敷地内の緑化</b>				<b>1.0</b>
Q3-1	生物環境の保全と創出	1.0	0.09	外構緑化:8.5%/建物緑化:0%
<b>④ 地域材の活用</b>			(評価ポイント)	<b>1.0</b>
Q3-2 4)	地域性のある素材による良好な景観形成	0.0	-	なし
Q3-3.1 I 2)	地域性のある材料の使用	0.0	-	なし

■重点項目スコア算出式

各重点項目スコアは、以下の方法により算出されています。

①地球温暖化への配慮、③敷地内緑化

重点項目スコア=各配慮項目の評価点

②資源の有効活用 (評価点×全体に対する重み)の総和

重点項目スコア= 重みの総和

④地域材の活用

重点項目スコア=評価ポイントの合計+1

## ■ 環境設計の配慮事項

■ 建物名称 (仮称) 竹本油脂(株) 様社

計画上の配慮事項	
総合	建物名称にありますが社員寮として使用をするため、パブリックスペースやフリースペース、外部パティオ部分を設けるなど、利用される方が快適に使用できる建物とし、周辺環境にも配慮した計画とした。
Q1 室内環境	室内の居住性を考慮した採光、換気計画とした。
Q2 サービス性能	天井高さをできる限り取るようにして、広さ感を出す計画とした。
Q3 室外環境(敷地内)	景観への配慮や防犯カメラの設置など、防犯性のも配慮した。
LR1 エネルギー	一次エネルギー消費量を抑えることに寄与する設備選択に努めた。
LR2 資源・マテリアル	有害物質を含まない建築材料などを、できるだけ使用するように努めた。
LR3 敷地外環境	敷地内に住戸数分の自転車置場を設け、駐車場やバイク置場なども出来るだけ確保した。
その他	